

# 外国人材の雇用促進に向けて



「外国人材雇用促進のためのジョブフェア&マッチングイベント」を観光庁から受託して、全国で行っている。われわれ外国人材委員会が活動を始めた昨年、特定技能という制度はあるものの、宿泊業界の中であまり広まっていないという現状があった。原因として、特定技能の在留資格を得るための試験の実施数が少なかつたり、旅館業について対外的にPRができていなかったりすることがあった。

そこでわれわれを中心に、独自で試験会場を持っており、あついで、せつへの良い取り組みがなかった中、県民の回復を促すことへ、組合のホームページにその制限の記載が残っていたことも、対象を地域の子供に限らず、県民を広く取りこむという動きが、

「試験を受けた方がいい機会がない」という話や「試験があるから分らない」というクレームを聞かれないように、試験会場を確保して、海外に受けたい人がいつでもどこでも受けられる仕組みを作った。

海外におけるPRでは、「外国人材雇用促進のためのジョブフェア&マッチングイベント」がある。日本の宿泊業、特に旅館業に比べて、ホテルとの違いやどんな特徴があるのかなど、まだ知らない人が多く、そのPRをわれわれが実際に現地に行っている。そこで、旅館で活躍している外国人材の事例を紹介することで、日本の宿泊業で働くことのイメージが湧くようにした。プロモトリック方式に改

定して、試験の回数が増え、申し込みのハードルを下げた。現地の学生とわれわれ旅館のメンバーとのマッチングも行い、良い人材がいればその場で採用を決めてもらっている。ジョブフェア&マッチングイベントは7月のインドネシアを皮切りに、インド、ネパール、スリランカの各国で実施。現地の反応、雰囲気はどうか。昨年インドネシア、フィリピン、インド、ネパールの4カ国で行ったのだが、その時は日本が選ばれなくなっ

「試験を受けた方がいい機会がない」という話や「試験があるから分らない」というクレームを聞かれないように、試験会場を確保して、海外に受けたい人がいつでもどこでも受けられる仕組みを作った。

「試験を受けた方がいい機会がない」という話や「試験があるから分らない」というクレームを聞かれないように、試験会場を確保して、海外に受けたい人がいつでもどこでも受けられる仕組みを作った。

「試験を受けた方がいい機会がない」という話や「試験があるから分らない」というクレームを聞かれないように、試験会場を確保して、海外に受けたい人がいつでもどこでも受けられる仕組みを作った。

「試験を受けた方がいい機会がない」という話や「試験があるから分らない」というクレームを聞かれないように、試験会場を確保して、海外に受けたい人がいつでもどこでも受けられる仕組みを作った。

### 全旅連青年部労務人材委員会

深刻な人手不足の中で、宿泊業で働く外国人材を増やそうと、全旅連青年部の労務人材委員会が活躍している。同委員会担当副部長の菅原真太郎氏（大阪府・ホテルプラザオーサカ）写真右と、委員長の小川尊也氏（神奈川県・一の湯）同左に、両氏が関わった「特定技能」の在留資格を取得するための試験の仕組み改善、海外での宿泊業のPRイベントについて話を伺った。

### 日本の海外でアピール 宿泊業 特定技能 仕組み変更し受験者大幅増

「試験を受けた方がいい機会がない」という話や「試験があるから分らない」というクレームを聞かれないように、試験会場を確保して、海外に受けたい人がいつでもどこでも受けられる仕組みを作った。

「試験を受けた方がいい機会がない」という話や「試験があるから分らない」というクレームを聞かれないように、試験会場を確保して、海外に受けたい人がいつでもどこでも受けられる仕組みを作った。

「試験を受けた方がいい機会がない」という話や「試験があるから分らない」というクレームを聞かれないように、試験会場を確保して、海外に受けたい人がいつでもどこでも受けられる仕組みを作った。

### エスカレーター安全利用へ啓発

#### 千葉県旅館ホテル生活衛生同業組合

全旅連青年部が今年3月、エスカレーターの安全な利用を呼び掛ける啓発運動を全国9カ所の駅構内などで行った。事故防止や、障害者、高齢者、子供連れの人たちも安心して利用できるような取り組みを、心して利用できるようにと、「2列で止まる」など正しい利用方法を呼び掛けた。また、利用を妨げる人たちに呼びかけるための啓発運動を全国9カ所の駅構内などで行った。事故防止や、障害者、高齢者、子供連れの人たちも安心して利用できるような取り組みを、心して利用できるようにと、「2列で止まる」など正しい利用方法を呼び掛けた。また、利用を妨げる人たちに呼びかけるための啓発運動を全国9カ所の駅構内などで行った。

「試験を受けた方がいい機会がない」という話や「試験があるから分らない」というクレームを聞かれないように、試験会場を確保して、海外に受けたい人がいつでもどこでも受けられる仕組みを作った。

「試験を受けた方がいい機会がない」という話や「試験があるから分らない」というクレームを聞かれないように、試験会場を確保して、海外に受けたい人がいつでもどこでも受けられる仕組みを作った。

「試験を受けた方がいい機会がない」という話や「試験があるから分らない」というクレームを聞かれないように、試験会場を確保して、海外に受けたい人がいつでもどこでも受けられる仕組みを作った。



林岳佑氏

## 地域の「見守りの宿」に

### 高知県旅館ホテル生活衛生同業組合

今から18年前の事業で、仲間がなくなり、県民の回復を促すことへ、組合のホームページにその制限の記載が残っていたことも、対象を地域の子供に限らず、県民を広く取りこむという動きが、

「試験を受けた方がいい機会がない」という話や「試験があるから分らない」というクレームを聞かれないように、試験会場を確保して、海外に受けたい人がいつでもどこでも受けられる仕組みを作った。

「試験を受けた方がいい機会がない」という話や「試験があるから分らない」というクレームを聞かれないように、試験会場を確保して、海外に受けたい人がいつでもどこでも受けられる仕組みを作った。

「試験を受けた方がいい機会がない」という話や「試験があるから分らない」というクレームを聞かれないように、試験会場を確保して、海外に受けたい人がいつでもどこでも受けられる仕組みを作った。

「試験を受けた方がいい機会がない」という話や「試験があるから分らない」というクレームを聞かれないように、試験会場を確保して、海外に受けたい人がいつでもどこでも受けられる仕組みを作った。

「試験を受けた方がいい機会がない」という話や「試験があるから分らない」というクレームを聞かれないように、試験会場を確保して、海外に受けたい人がいつでもどこでも受けられる仕組みを作った。

「試験を受けた方がいい機会がない」という話や「試験があるから分らない」というクレームを聞かれないように、試験会場を確保して、海外に受けたい人がいつでもどこでも受けられる仕組みを作った。

「試験を受けた方がいい機会がない」という話や「試験があるから分らない」というクレームを聞かれないように、試験会場を確保して、海外に受けたい人がいつでもどこでも受けられる仕組みを作った。

「試験を受けた方がいい機会がない」という話や「試験があるから分らない」というクレームを聞かれないように、試験会場を確保して、海外に受けたい人がいつでもどこでも受けられる仕組みを作った。



全旅連青年部が3月に行ったエスカレーターの安全な利用を呼び掛ける啓発運動（東京・都営地下鉄新宿西口駅）

観光庁が実施し、全旅連が事務局を受託している海外での「外国人材雇用促進のためのジョブフェア&マッチングイベント」の様子（上＝インドネシア・ジャカルタ、下＝インド・デリー）

## 全旅連青年部全国大会特集 35面

# 人手不足でお困りのホテル・旅館さま必見

## 人材のご紹介なら「リゾートバイトダイブ」

- お取り引き施設数 4,600以上**  
ダイブは札幌・仙台・東京・大阪・福岡・沖縄の全6拠点で運営。全国の施設さまに直接足を運び、より精度の高い就業マッチングを行います。
- 年間就業者数約1万人**  
20～30代を中心に、ご希望に合わせて人材をご紹介します。半数以上はリピートユーザーで、調理や仲居など専門スキルを持った人材もご紹介可能です。
- 求人掲載費 0円**  
費用が発生するのは、ご紹介したスタッフが稼働したタイミングです。求人作成も弊社で行いますので、コストをかけずまずはお試しで掲載いただけます。
- 外国人材もご紹介**  
宿泊分野の「特定技能」に特化した人材紹介も行っております。就業前後に必要な支援業務まで幅広くサポートいたします。

リゾートバイトダイブとは？  
観光施設に特化した人材サービスを提供しており、日本全国のリゾートホテルや旅館、飲食店、テーマパーク、レジャー施設、スキー場などの観光施設に対して人材派遣および人材紹介を行っております。これまで30万人以上にお仕事をご紹介してきました。

### 採用担当者さまからの声

- 1 地元で採用するよりスピーディーです！**  
地元での採用に苦戦し常に人手不足の状態で、休憩時間や労働時間の調整に苦労していました。住み込み派遣スタッフは全国から応募いただけるので、1週間も経たずに必要な人材を確保できました。また施設の雰囲気にもマッチする人材を紹介いただけるので助かっています！
- 2 繁忙期のみ派遣を導入し費用削減！**  
基本的に人手は足りているのですが、繁忙期などピークの時期にどうしても足りなくなることがあり、困っていました…。繁忙期の人員調整として1～2ヶ月の短期で派遣スタッフを導入したことで、通年で人員を確保するよりもかかる費用を削減することができました！
- 3 外国人材採用が職場の雰囲気に好影響！**  
人手不足から特定技能の受け入れに踏み切ったのですが、強い意欲を持って来日した外国人材は仕事に前向きで向上心が高いです。教育は大変ですが、陽気な方が多く職場の雰囲気が良くなったと感じます！